

業 務 名

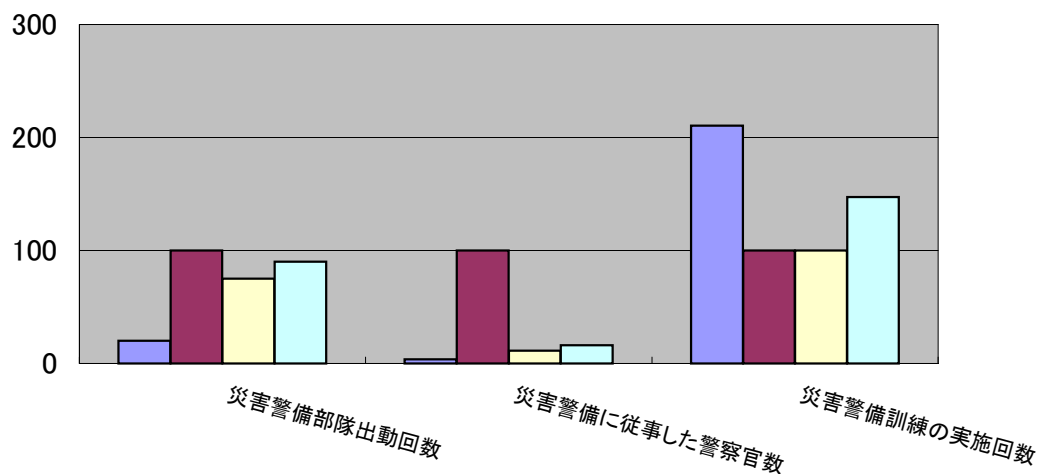
防災対策の推進

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
災害警備部隊出動回数	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	単位
	4	20	15	18	回
災害警備に従事した警察官数	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	単位
	370	10,273	1,175	1,673	人
災害警備訓練の実施回数	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	単位
	40	19	19	28	回
	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	単位

統計の推移

■平成15年 ■平成16年 ■平成17年 ■平成18年



< グラフは、平成16年を100とする指数で表した。 >

○業務の主なコスト

№	事 業 名	平成18年度事業費(千円)	平成19年度事業費(千円)
1	災害警備対策費	55,175	167,224
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
合 計		55,175	167,224

○平成18年の取組み

●大雨等の影響により、死者1名の人的被害や床上浸水や床下浸水、崖崩れ等による建物被害が発生したが、気象警報の発令や被害の発生状況に応じて警察本部及び各警察署に災害警備本部を設置し、それぞれ必要な災害警備活動を実施した。

●「三重県警察大震災総合警備訓練」（警察本部）、「三重県警察総合防災訓練」（警察本部及び警察署）、「警察本部員非常参集及び災害警備本部設置訓練」（警察本部）を実施したほか、「三重県総合防災訓練」、「各市町防災訓練」等の関係機関が実施する防災訓練に積極的に参加するなど、相互の連携強化を図った。

●災害時における警察活動の拠点となる警察施設の耐震化工事【四日市南警察署（建替）、四日市北警察署（耐震改修）】を行うとともに、災害現場に必要な装備資機材等の整備・充実を図った。

○課題と平成19年の取組み

●これまでの災害対応を踏まえて、防災関係機関との一層の連携を図り、有機的な災害警備活動を実施するなど、各種防災対策の推進強化に努める。

●災害時における警察活動の拠点となる警察署の耐震化を推進するとともに、携帯用救助工具等装備資機材の整備・充実など、防災体制の整備強化を図る。

●災害現場における救出救助能力等向上のため、「中部管区警察局広域緊急援助隊合同訓練」（10月・富山県）、「三重県警察総合防災訓練」等の実戦的な訓練を実施し、災害警備活動の充実強化を図る。